

国語問題集 記述入門

●本書の特色と構成●

1 本書の特色

このテキストは、記述力向上のための周辺事項のチェックと記述方法にかかる基礎的なトレーニングを目指した実戦的教材です。精選された素材により、効率的かつ徹底的に記述方法がマスターできるような、また記述に際して配慮すべき基礎事項についても理解が深められるような内容を持たせて編集しております。

2 本書の構成

本書は原則的に1単元4頁で構成されていますが、各単元とも内容的には「ことばの勉強をしておこう」と各単元のテーマについての「記述トレーニング」の二つの部分に分かれます。

◇ことばの勉強をしておこう…記述力を側面から支える文法的・語法的・知識的事項の確認を行う内容になっています。基本的でありながら、誤りやすい問題を取り上げて、記述の際の注意を喚起します。

○記述トレーニング…記述のための方法を、段階的に七つに分けてそれぞれの単元で、それぞれの方法について練習します。最終単元は総合問題で、それまでに練習した方法を適用する確認問題になっています。

◆ 目次・単元のねらい ◆

1 指示語の内容をまとめてみよう	◆ 同音異義語・同訓異字	2
2 キーワードを抜き出してみよう	◆ 誤字訂正・仮名づかい・送りがな	6
3 キーセンテンスを抜き出してみよう	◆ キーワードを抜き出してみよう	7
4 段落の要点をまとめてみよう	◆ 誤文訂正(1)	10
5 要点をまとめて、本文を要約してみよう	◆ キーセンテンスを抜き出してみよう	11
6 要点を利用して、要旨をまとめてみよう(1)	◆ 副詞の呼応・修飾語の位置	14
7 要点を利用して、要旨をまとめてみよう(2)	◆ 段落の要点をまとめてみよう	15
8 総合問題	◆ 適語補充・適語代替	18
○ ◆ 語法・適語補充	◆ 副詞の呼応・修飾語の位置	22
○ ◆ 敬語	◆ 段落の要点をまとめてみよう	23
○ ◆ 要点を利用して、要旨をまとめてみよう(2)	◆ 適語補充・適語代替	26
○ ◆ 総合問題	◆ 副詞の呼応・修飾語の位置	30

1 指示語の内容をまとめてみよう

たまらない。ここでとりあげた同音異義語・同訓異字は使い分けを誤りやすいので、とくに注意しよう。

1 次のそれぞれの組の文の——線部のカタカナを表す漢字として適切なもの
をそれぞれのあとから一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | |
|------------------|---------------------|----------------|
| | | |
| (3) | (2) | (1) |
| ア 干渉 | ア 解放 | ア 病状がカイホウに向かう。 |
| イ 鑑賞 | イ 介抱 | イ 奴隸をカイホウする。 |
| ウ 感傷 | ウ 対照 | ウ 開放 |
| | | |
| ④ 他人のことにカンショウする。 | ④ 中学生をタイショウとして書かれた本 | ④ 病人のカイホウをする。 |
| ③ カンショウ的な気分になる。 | ③ 友人と私はタイショウ的な性格だ。 | ③ 門戸をカイホウする。 |
| ② 桜の花をカンショウする。 | ② 砂漠をタイショウの一団が進む。 | ② 奴隸をカイホウする。 |
| ① 芸術作品をカンショウする。 | ① 左右タイショウの図形。 | ① 病状がカイホウに向かう。 |

工
對稱

- (12) 梅雨が|あけ|る。
- (11) 詳細な例を|あげ|る。
- (10) あえて危険を|オカ|す。
- (9) 税金を国に|オサ|める。
- (8) 半生をかけて一冊の本をアラワ|す。
- (7) 空き地に大きなビルがタ|つ。
- (6) 新入社員を十名ト|る。
- (5) クラブへの入会をスス|める。
- (4) 結婚式の司会者をツト|める。
- (3) 厳しい試験にノゾ|む。
- (2) 紙がヤブ|れる。

2 次のそれぞれの文の——線部のカタカナを漢字に直して答えなさい。

2 記述トレーニング

2 指示語の内容をまとめてみよう

● 指示語の内容をまとめたためには

1 指示語の問題に答えるためには次のような手順をふむ必要がある。

(1) 指示語を含む文は、文脈を重視して、文末まで読む。

(2) 原則的に、指示語の前の部分から探す。(ただし、指示語の後に指示内容が述べられている場合もあるので、前の部分を見て指示内容に該当する部分が見つからない場合は、後を探す)

(3) 見つけた、または、まとめた指示内容は、必ず指示語の部分に代入して、意味が通るかどうかを確認する。

2 指示語の内容をまとめたときの注意点

(1) 設問の仕方に正しく対応させる。

① 「何」を指しているか→名詞(体言)の抜き出し

② 「どういうこと」を指しているか→「～こと」(名詞句・名詞節)

③ 「――線部」の指示する内容→――線部に即してまとめる
「～こと」の形になることが多いが、あくまでも――線部との対応の仕方で文末をまとめる配慮をする。

(2) 指示語の種類や品詞によってまとめ方が異なる。

① 「これ・それ・あれ・どれ」「こっち・そっち・あっち・どっち」「ここ・そこ・あそこ・どこ」
→ 代名詞(具体的なもの・方向・場所・「～こと」などとまとめる)

② 「この・その」→連体詞、「こう・そう」→副詞
どちらも修飾語であり、その形にそなめ方が必要。

(3) 指示語の内容をまとめたときには、指示語を用いない。

みなさんは水が酸素と水素からできていることは知っていますね。そしてそれが一対二の割合になっていることも御存知でしょう。

1――線部の指示語が指している部分を書き抜いて答えなさい。

神様や仏様に、何かをお願いしたりお祈りしたりするときに、祝詞やお経などを唱えますが、①それもことばです。「なむあみだぶつ」や「アーメン」もことばです。おまじないも②そうです。

3――線部の指示語が指している内容を書いて答えなさい。

②	
①	

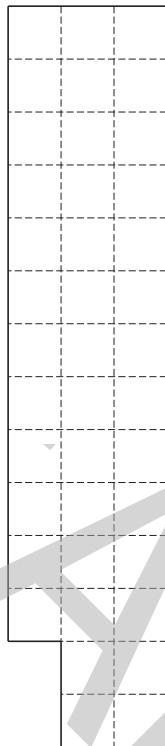
〈池上嘉彦「ふしあな」とばのふしが「より」〉

4 線部の指示語が指している内容を書いて答えなさい。

〈東山魁夷「風景」より〉

5 線部の指示語が指している内容を、四十字以内(句読点も字数に数えます)で書きなさい。

〈朝日新聞 記事より〉



〈手塚治虫「ガラスの地球を救え」より〉

(注) 幻想=とりとめのない想像。

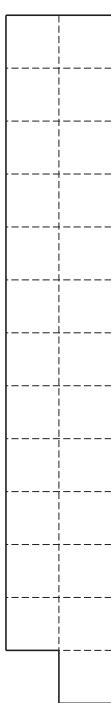
(1) 線①「そこ」が指している部分を、本文中から書き抜いて答えなさい。

(2) 線②「そんな場所」とは、どんな場所ですか。本文中から書き抜いて答えなさい。

(3) 線③「それ」が指している内容をまとめた次の文の□に入るこ

とばを、文末のまとめ方に注意して、二十五字以内(句読点も字数に数えます)で書いて答えなさい。

〈美しく豊かな自然にふれると、□>



〈吉野源三郎の文章より〉

- (1) — 線①「それ」が指しているものを、全て三字以内で書き抜いて答えなさい。

- (2) — 線②「それ」が指している部分を、本文中から十五字以内(読点も字数に数えます)で書き抜いて答えなさい。

- (3) — 線③「この点」とは、どんな点ですか。三十五字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。

- (4) — 線④「それ」が指している内容を、十五字以内(句読点も字数に数えます)で答えなさい。

- (5) — 線⑤「その」が指している内容を、「どの一つを」につながるようにまとめなさい。

どの一つを